

# 2906A

## 1) 仕様

|                                 |           |
|---------------------------------|-----------|
| 機械落径                            | 18.0mm    |
| 機械厚み                            | 5.3mm     |
| テンプ振動数                          | 28,800回/時 |
| 自動巻（手巻装置付）                      |           |
| カレンダー（日付・曜日・曜文字和英切換機構・日曜早修正装置付） |           |

## 2) 特長

- 豊富な機能を有した薄型婦人用腕時計  
婦人用腕時計としての豊富な機能を有し、しかもムーブメントの薄型化を図り、デザインバリエーションの拡大を可能とした婦人用実用時計です。
- 精度の安定したムーブメント  
定評あるマジックレバー式自動巻機構を採用し、更に高振動(8振動)の精度を徹底して追及し、安定性の高いものとなりました。
- 簡単な操作の日曜修正装置  
リュウズ二段目で左右回転によって日曜修正ができ、同時に、曜日の和英切換えも簡単にできます。
- アフターサービスのしやすい時計  
合理的な設計により、部品数を大巾に削減すると共に、新方式のヒゲ外端固定構造の採用、線バネの廃止など構造の単純化を図り、アフターサービスを一段としやすくしました。

## 3) 分解・組立

分解は、図の番号①→⑤の順序で分解してください。組立は、図の番号⑤→①の順序で組立ててください。

## 4) 注油

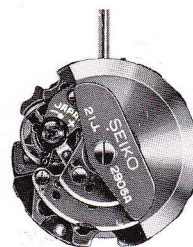
図中で次の記号は、油の種類、量、注油箇所を示します。

### ●種類

- マービスA
- マービスV
- セイコーウォッチ油S-6
- セイコーウォッチ油S-3
- 印の箇所には、絶対に注油しないでください。

### ●注油量

- 多めに
- 標準量
- 極く少量



ムーブメント表

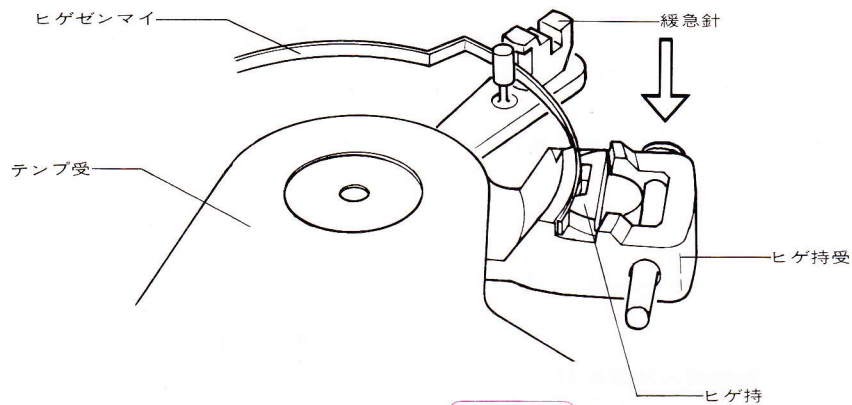


ムーブメント裏

## 2906A ヒゲ外端固定部及び使用ネジ一覧

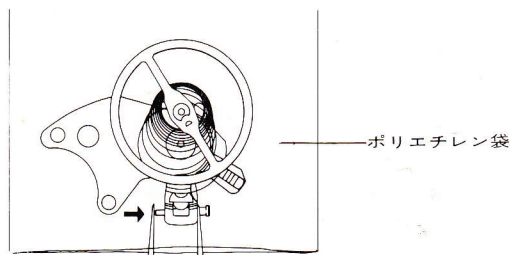
### ヒゲ外端固定部の構造

セイコーが独自に開発したこのヒゲ外端固定方法は、操作が大変簡単で、しかもヒゲの水平度が安定して出せる非常に修理性の高い構造です。



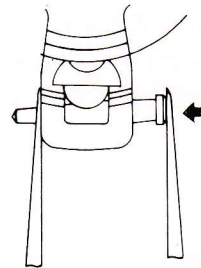
#### 分解時の注意

ヒゲ持クサビの先端をピンセットで押して抜きますが、図のようにポリエチレンなどの袋の中でおこなうと、ヒゲ持クサビの飛ばしを防止できます。



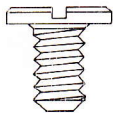






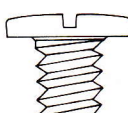
#### 組立時の注意

ヒゲゼンマイの固定は、下図のようにヒゲ外端がヒゲ持受の側面に一致するように組み込みます。固定を確実にするため、強めに押込んでください。

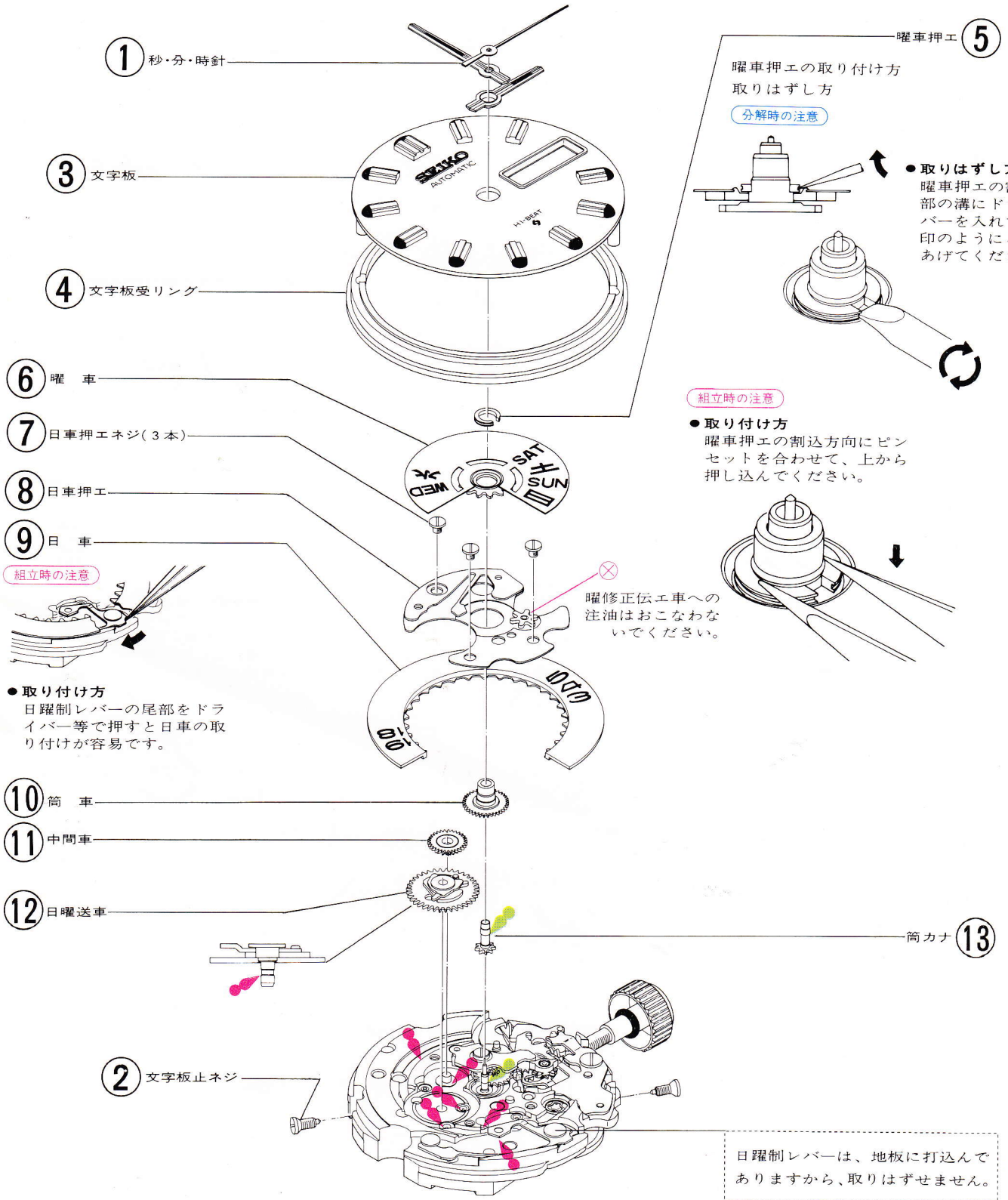


### 使用ネジ一覧表

2906A に用いられているネジは、次の7種類です。

| 形状  | 部品番号    | 名称(共通関係)  | 形状  | 部品番号    | 名称(共通関係)                |
|---|---------|---|---|---------|-------------------------|
|  | 022 257 | カンヌキ押エネジ  |  | 022 490 | 回転錘ネジ                   |
|  | 022 282 | 日ノ裏押エネジ   |  | 022 491 | 伝エ受ネジ(2本)               |
|  |         | 日車押エネジ(3本)  |  | 022 764 | 文字板止ネジ(2本)              |
|  | 022 470 | 一番受ネジ(2本)<br>二番受ネジ<br>アングル受ネジ<br>テンプ受ネジ<br>秒針カナ押エバネネジ |  | 022 421 | 側止ネジ(2本)<br>(無いものもあります) |

# 2906A カレンダー機構



# 2906A 自動巻機・脱進・调速機構

14 回転錘ネジ

15 回転錘

16 伝エ受ネジ(2本)

17 伝エ受

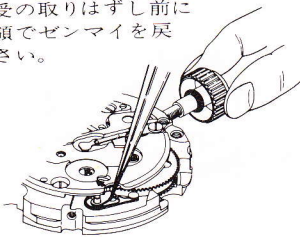
19 マジックレバー

22 テンプ受

23 ヒゲ持クサビ

**分解時の注意**

アンクル受の取りはずし前に  
下図の要領でゼンマイを戻  
してください。



リユウズをゼンマイ巻き方向にわ  
ずか回し、コハゼレバーをピンセ  
ットで一番受の矢印方向に回転さ  
せ角穴車との噛み合いをはずし、手  
でゆっくり回転させてゼンマイを  
巻戻します。

25 アンクル受ネジ

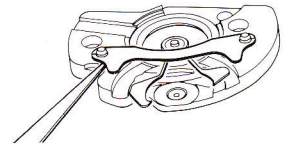
26 アンクル受

27 アンクル

レバー押エ 18

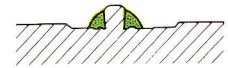
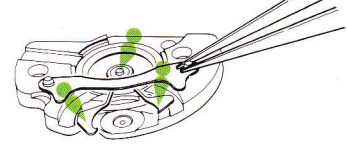
**分解時の注意**

●レバー押エのはずし方  
ピンセットでこじ上げる。



**組立時の注意**

●レバー押エの取り付け方  
ピンセットで上から押し込む。

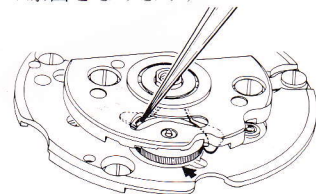


偏心ピンの注油  
はピンの頭に油  
がのらないこと。

伝エ車 20

**組立時の注意**

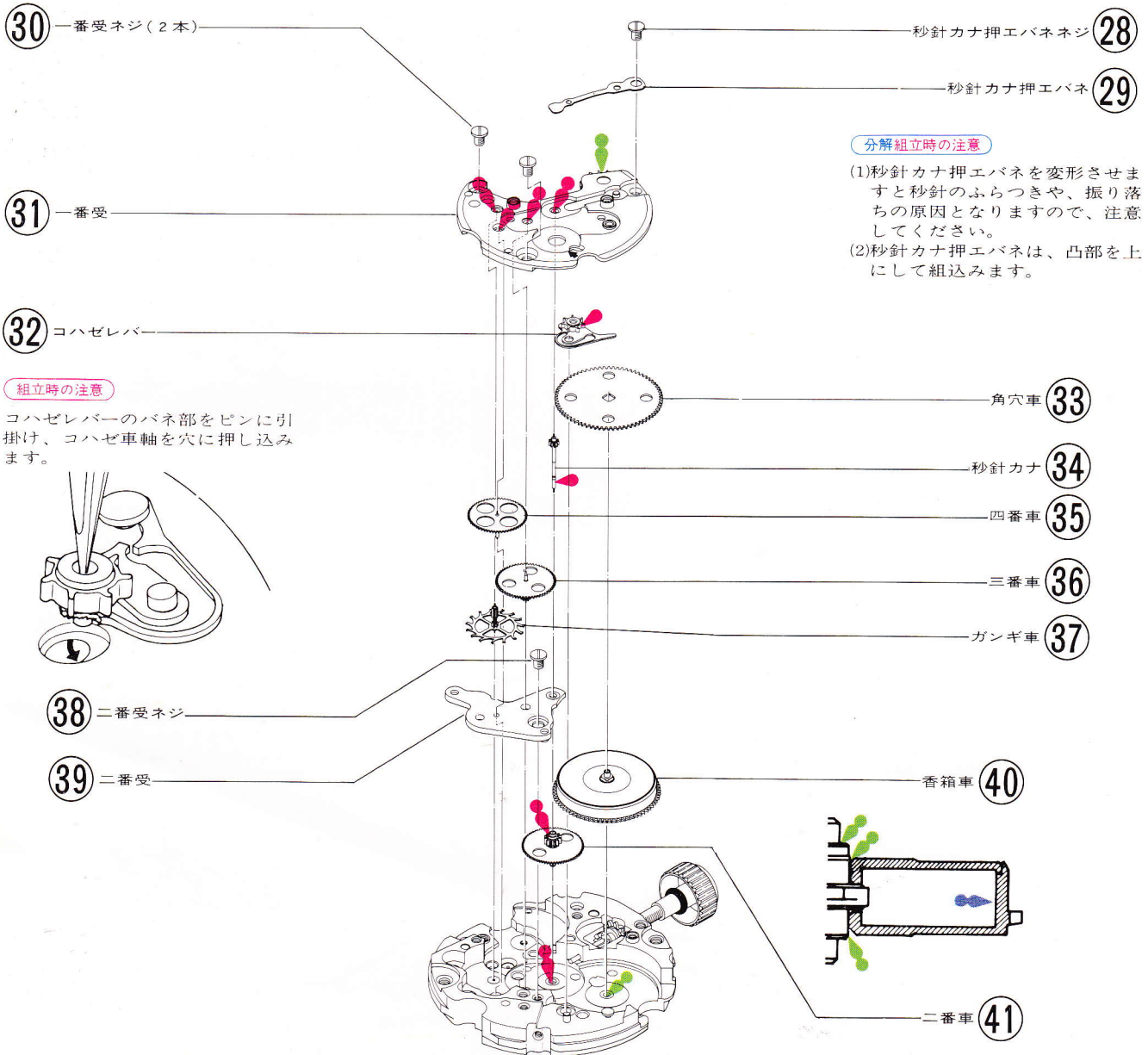
伝エ受を軽く押えながら、ピンセ  
ットでマジックレバーを静かに押  
し広げ、伝エ車に噛み合わせます。  
※(必要以上に広げると折れ、変形  
の原因となります)



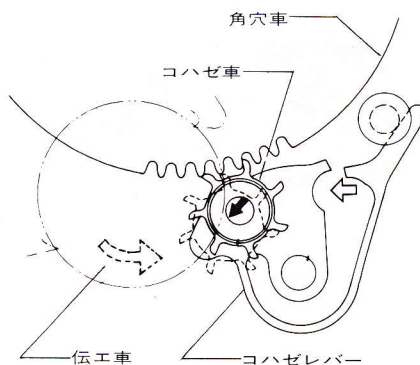
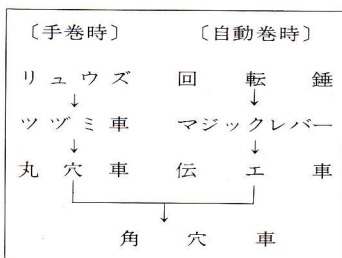
テンプ受ネジ 21

テンプ 24

# 2906A 輪 列



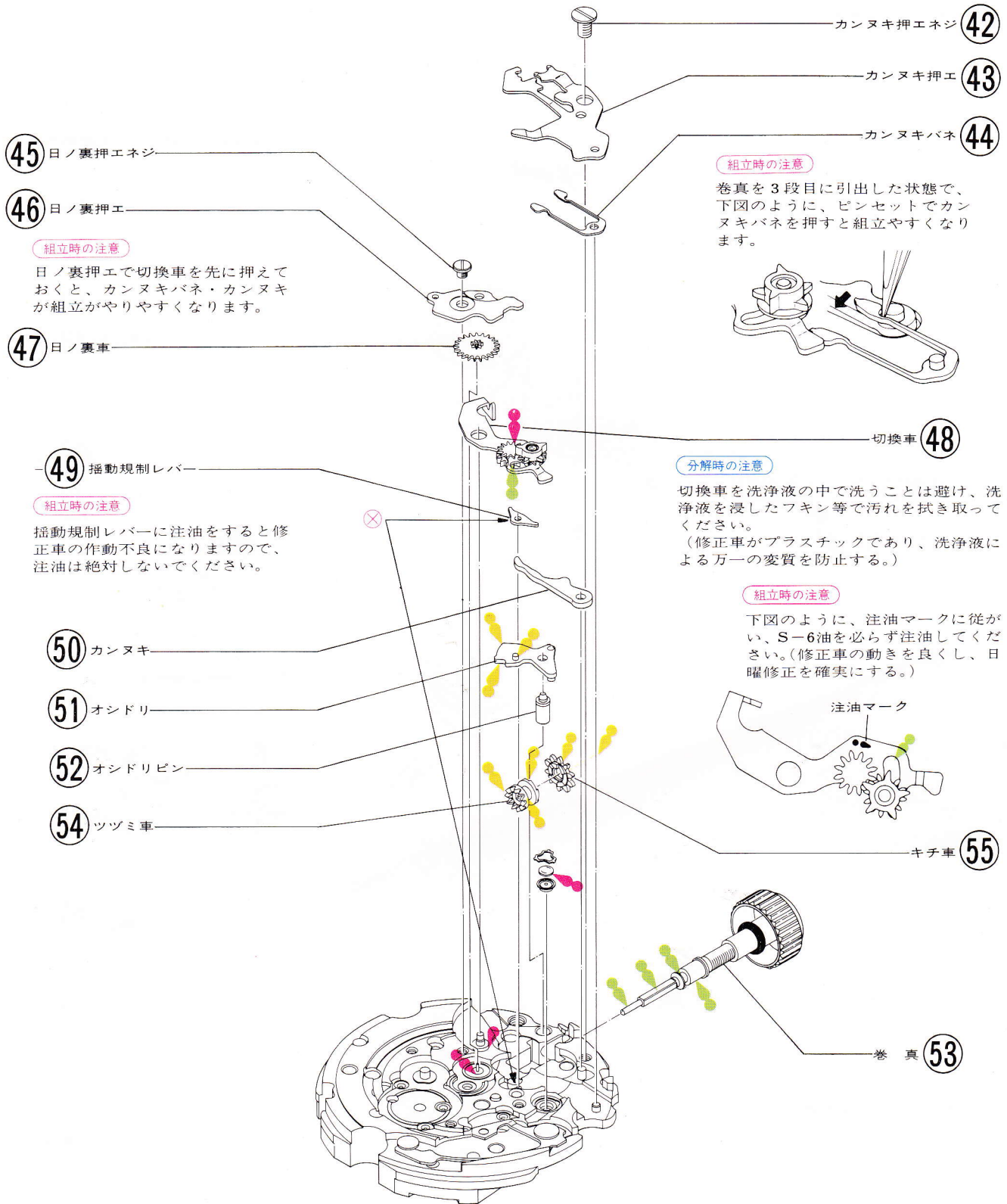
## コハゼ機構の作動



左表のような経路によってゼンマイは巻き上げられますが、巻き上げを停止すると、ゼンマイの戻り力によって前の経路を逆転しようとして、このとき、マジックレバーが伝エ車の逆転を阻止し、また、自動巻部を取り除いた後は、コハゼ車が角穴車と突張って角穴車の逆転を阻止します。これによってゼンマイの戻りを防止します。

なお、ゼンマイの巻戻しをするときは、自動巻部を取りはずした際コハゼレバーの凹部を ← 印方向に押し込み、コハゼ車を角穴車から ↙ 印方向にはずしておこないます。

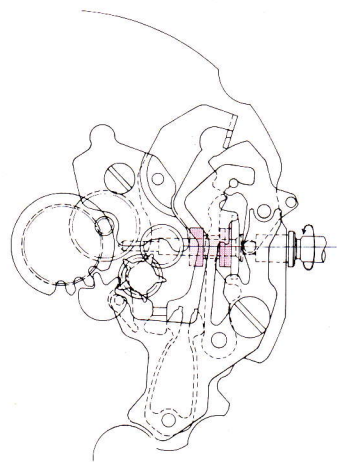
# 2906A 切換機構



## 2906A カレンダー機構

リュウズ通常位置（ゼンマイ巻）

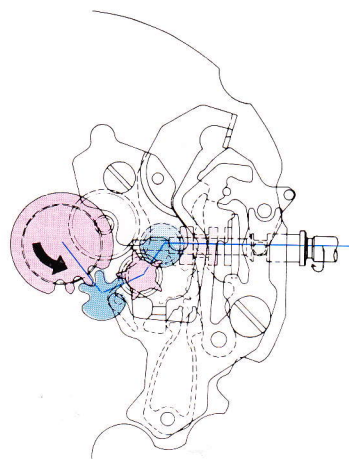
キチ車とツヅミ車が噛み合っており、この位置でリュウズを回すとゼンマイが巻かれます。



リュウズを二段目に引き出した位置（日・曜のセット）

ツヅミ車と小鉄車が噛み合い、小鉄車と一体に回転する小鉄伝エ車から修正車に回転が伝達されます。この位置でリュウズを右回転させると修正車が、日車側に揺動し、日修正を行ない、左回転させると反対側に揺動して曜修正をします。

（日送り、曜送りは22時30分から3時30分の間で行ないますが、この時刻帯で日曜修正をしても修正ができませんことがあります。）



リュウズを三段目に引き出した位置（時刻のセット）

切換車がカンヌキバネに押され、小鉄伝エ車が、日ノ裏歯車に噛み合い、ここでリュウズを回すと針が回ります。

